

By Bethany Cummings



ベサニー・カミングス

1996年、英国ウェールズ生まれ。子どもの頃に見たスタジオジブリ制作のアニメなどをきっかけに日本に興味を持ち、スコットランドのエディンバラ大学で日本語とアジア学を専攻。在学中に交換留学生として岡山大学で10カ月間学ぶ。2018年から東京都大田区役所で国際交流員として勤務し、文化や言語の架け橋として、外国人区民をサポートしながら大田区や母国の魅力を紹介している。演劇鑑賞や旅行のほか、イラストを描くのが趣味。区の外郭団体「国際都市おおた協会」のホームページで「ベサニーの大田区絵日記」を公開中。

<https://www.ota-goca.or.jp/artjournal/>

What brings you to Japan? Let me think on it

“What brings you to Japan?” I’ve been asked questions like this so many times I’ve **lost count**. You would think I would have **composed** the perfect answer **by now**, yet every time that question comes my way, I’m **stumped**.

How far do I need to go back? And how can I explain my interest in Japan without **boring** the asker with **tedious extracts** of different stages of my life? **After all**, I’m sure they just want a simple answer, not my **entire autobiography**.

I’ll try to explain it **briefly**. I

grew up watching Studio Ghibli films and “Sailor Moon” anime, but it wasn’t until I reached secondary school that I got truly interested in Japan. I had a pen-friend in Japan with whom I often exchanged letters.

I watched a lot of J-dramas, listened to bands like Arashi, and loved to read books by Haruki Murakami. It was also **then** that I decided to learn Japanese.

After learning Japanese for **roughly** two years, I chose to continue my studies at university, where I majored in Japanese

language and Asian studies. While I **no longer** watched Japanese anime or drama, I still felt **drawn to** Japan and loved studying Japanese.

After graduating, I moved back here for work, and hopefully to live **permanently**. But why? The simple answer is, I just like living here. The nature, *conbinis*, karaoke, fashion, *matsuri*, food, just being able to use Japanese every day — the list **goes on**.

The simple things that make Japan what it is — that’s what brings me to Japan.

What...Japan?

(見出しから)なぜあなたは日本に来たのですか？

think on
(見出しから)～についてよく考える

lost(lose) count
数え切れなくなった

compose(d)
～を作った

by now
今ではもう、そろそろ

(be) stumped
困る、途方に暮れる

bore(-ing)
～を退屈させる

tedious
うんざりするような、飽き飽きする

extract(s)
引用

After all

結局、どっちみち

entire
全部の、完全な

autobiography
自叙伝

briefly
簡潔に、手短かに

then
その頃、当時

roughly
およそ、大体

no longer
もはや～しない

(be) drawn to
～に魅了される、惹かれる

permanently
ずっと、いつまでも

go(es) on
続く

対訳

日本に来たきっかけは？ ちょっと考えさせてください

「あなたが日本に来たきっかけは何ですか？」。この種の質問を、数え切れないほど受けてきました。皆さんは、今では私が完璧な答えを用意しているだろうとお考えでしょうが、実は毎回この質問をされるたびに閉口してしまうのです。

いつごろのことからお話すればよいのでしょうか？ 私がこれまでいろいろ経験してきた、どうでもいいような出来事を取り上げながら、どうやって聞き手を退屈させずに、日本への興味について説明できるでしょうか？ どのみち、質問者が聞きたいのは、単純な答えであって、私の自伝ではないはず。

簡潔にご説明しましょう。私は、スタジオジブリの映画と「セーラームーン」のアニメを見て育ちましたが、日本について本気で興味を抱いたのは、中学生になってからでした。日本に文通友達がいる、よく手紙をやりとりしていました。

私は、日本のドラマをたくさん見て、「嵐」などの音楽グループの曲を聴き、村上春

樹の本を読むのが大好きでした。日本語を学ぼうと思ったのも、その頃です。

2年ほど日本語を学んだ後、大学でさらに勉強する道を選び、日本語とアジア研究を専攻しました。日本のアニメやドラマは卒業していましたが、日本に引かれる気持ちは変わらず、日本語の勉強に夢中でした。

卒業後、仕事で再び来日し、できればここでずっと暮らしたいと思いました。でも、なぜ、そう思ったのかですって？ 端的に言うと、日本の暮らしが好きだからです。自然やコンビニ、カラオケ、ファッション、祭り、食べ物、日本語を毎日使えることなど、理由を数え上げればきりがありません。

日本を日本たらしめる、シンプルなもの。それが、私が日本に来た理由なのです。

(訳 田端節子)